

## 福知山FM放送 第34回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成25年9月26日(木) 午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地  
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 5名  
出席委員数 3名  
出席委員の氏名 香月 芳雄 委員  
藤田 佳宏 委員  
藤原 公子 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役 松井喜久夫  
局長補佐 水寫孝彦

4. 議題 1) 福知山FM放送局概況報告  
2) 放送番組全般に対するご意見  
3) 次回番組審議会の開催日時について  
4) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 4) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

6. 審議の内容

- 1) 福知山FM放送局概況報告  
代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

・花火大会について

花火大会特別番組を現地から生中継で実施予定であったが番組開始直後に事故が発生し、緊急車両が通れない等の事態が発生したため現地でラジオを聞いている方やドライバーの方に向けての注意事項を中心に数時間生放送を行った。

・台風18号について

9月16日(月) 台風18号災害 避難情報や水位情報を放送  
16日(月)～22日(日)まで特別番組編成で災害情報を提供  
情報の伝達の仕方を見直す必要がある。

2) 放送番組全般に対するご意見

各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り

(委員) 花火大会について、大会現場に行っていたのだが、あのような事故が起き、何が起こったのかが分からない中、ラジオを聞くと正確な情報を放送して頂いたので判断できた。信頼できる情報を伝えてくれたという声が多かった。

(事務局) 特別番組開始の30分後にあのような事故が起こった。会場が混乱し、緊急車両が通れなくなる等の状況になった。警察や消防、主催者からの情報をもとに放送では花火大会の中止を伝え、現地リスナーや運転中の方への注意などを行った。

(委員) 台風18号についてFM丹波から頂いた自動緊急起動の防災ラジオが今回特に役立った。メールも来たが緊急度がよく分からず。また防災行政無線の屋外スピーカーの音は戸を締め切っているのでほとんど聞こえなかった。

(事務局) 水害は由良川がある限りいつ来るかわからない。防災ラジオという手段があるということ働きかけていきたい。

(委員) 9月の初めにも大雨があったがテレビでは細かな情報が入ってこないのがラジオを聞いて情報を得た。防災行政無線の放送について、大江地域の人によるともうすぐそこに水が迫ってきているのに緊急性のある情報が放送されない状況があったと聞く。

(事務局) 細かな情報についてはまず、情報自体がなかなか入ってこない状況があり、その後、情報の事実確認などをしていると随時細かな情報を出すのは難しい状況。今後の仕組み作りが必要。

3) 次回番組審議会の開催日時について

松田委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、平成25年11月26日(火)に決定した。

4) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。松田委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第34回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き 平成25年 10月15日

ホームページに掲載 平成26年 3月 8日

9. その他